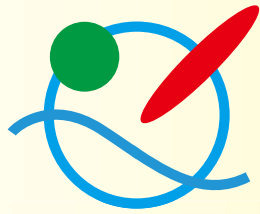


KANDA
TOWN



こんにちは議会です

July
25.2007
No.92

がんばりだ



第5回 荻田町アジャタ大会

6月定例会

- 「進む橋梁の耐震対策」…………… P2 ~ P3
- 委員会報告・臨時会報告…………… P4 ~ P5
- ズバリ町政を問う (11人が質問) …… P6 ~ P17
- カメラ見て歩き…………… P18 ~ P19



発行/荻田町議会 編集/議会広報特別委員会
〒800-0392 福岡県京都郡荻田町富久町1-19-1
TEL(093)434-1981 FAX(093)436-3014

進む橋梁の耐震対策

安全・安心なまちづくりをめざして

● 農地・水・環境保全活動支援事業交付金 **258万円**

農業振興・農用地地区を対象に農村の自然や景観などを守る地域活動を支援する制度。



● 山入林道工事 **480万円**



▲工事が進む林道▶



● 橋梁改修工事委託料 **1,274万円**

小波瀬西工大前駅(西工大入り口)に架かる九耀橋きゅうようばしの改修を工事委託するための費用。



改修された岡崎橋 ←



改修された新開橋 →

苅田町男女共同参画推進条例……可決

(条例前文抜粋)

苅田町は、平成15年3月には「男女共同参画行動計画」を策定、さらに平成17年12月に「男女共同参画都市宣言」を行うなど、男女共同参画の町づくりを目指し様々な取組を進めてきました。

(略)

町・議会・町民・事業者等が協力し合って男女共同参画推進に関する総合的かつ計画的な取組を継続して実施することにより、町民が自らの人生を自分自身で決めて生きられる苅田町を実現するため、この条例を制定します。



6月
定例会

条例・補正予算・専決処分・町道の廃止
及び認定など13件、陳情・意見書を可決

付託委員会報告

*付託委員会とは

議案に対する質疑答弁の後、議会の議決で各委員会に付託し、専門的な観点から慎重に審査を行います。議案採決の前に審査した委員長より、審査の経過と結果の報告を受け、議案に対する賛否を問う行為です。

● 一般会計補正予算(第2号)
議案に対する主な審議

Q 農林水産業費で農地・水・環境保全向上活動支援事業交付金は、地域のコミュニティ作りなどにも活用出来る指導を。

A 新規の国の交付金であり、農振農用地を対象とする事業として区単位での活性化事業として活用していきたい。

● 一般会計補正予算(第3号)
議案に対する主な審議

Q 土木費では、九耀橋耐震補強工事であるが、車の通行量も多く、また学校の通学路にもなっているが、拡幅の問題は考えていないのか。

A 今後小波瀬の基本構想の中で検討させていただきたい。

● 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

Q 国保保険者システム改修委託料で、当初500万円の子算が、1890万円増額補正されるが、その理由は。

A 住民基本台帳システムとの連携システムが必要となったことによる。

● 介護保険特別会計補正予算(第1号)

Q 介護認定審査会事務補助員についての資格は。 A 保健師の資格を持つ臨時職員で対応する。

● 男女共同参画推進条例の制定

Q 苅田町の条例は、これまで制定している自治体や今後制定する自治体のモデルになり得るか。

A 十分になり得る。 Q 審議委員会からの答申内容と違い、企業に対しての条列文の記述が含まれていないのはなぜか。継続審議としてはどうか。

A 行政・議会・住民・企業それぞれの責任バランスも考慮し、今回は検討課題としている。

●陳情

「自動車臨時運行許可について」
議会の採択を受けて、国への取り扱い事務の許可を受けるためのものである。

●選挙

福岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
平成20年4月1日に始まる後期高齢者医療制度の運営主体としての広域連合議会の議員に
吉廣 啓 子町長
を選出した。

●意見書6件

可決された意見書3件は、それぞれ関係機関に送付した。
九州厚生年金病院の存続に対し、医療内容の継続・充実を求める意見書……………可決
教育予算の確保と充実を求める意見書……………可決
公共サービスの民間開放に反対し、国民生活の「安全・安心」の確立を求める意見書……………否決
異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・充実を求める意見書……………可決
日豪FTA・EPT交渉の中止を求める意見書……………否決
後期高齢者の命と健康を守るため後期高齢者医療制度の充実を求める意見書……………否決

平成19年 第3回臨時議会

平成19年4月24日に開催された臨時議会1議案は、慎重審議の結果可決された。

苅田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)

「苅田臨空産業団地」約12haの分譲をトヨタ自動車九州と協議を進めているが、測量業務や造成工事等が必要となったための予算措置。

●専決処分

(平成18年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号))
(苅田町税条例の一部改正)
(国民健康保険条例の一部改正)

意見書1件

意見書1件は、それぞれ関係機関に送付した。

● 民主主義を冒瀆する政治テロと暴力行為の再発防止を求める意見書…可決

平成19年 第5回臨時議会

平成19年7月11日に開催された臨時議会6議案は、慎重審議の結果4議案は可決、1議案は否決された。

- 一般会計補正予算(第5号)
- 苅田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算(第3号)
- 工事請負契約の締結(苅田臨空産業団地造成第1工区)
- 工事請負契約の締結(苅田臨空産業団地造成第1工区)
- 工事協定の締結(九耀橋耐震・落橋防止構築工事)の5議案は可決。
- 一般会計補正予算(第4号)は否決



苅田町議会議員一般選挙の投票日が決まりました

選挙の期日の告示 平成19年9月25日(火曜日)
選挙の期日(投票日) 平成19年9月30日(日曜日)

みんなで徹底しよう「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を 贈らない!

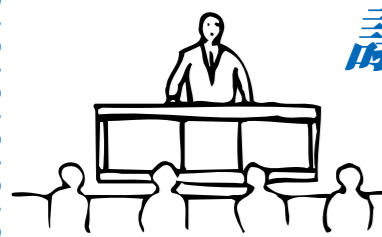
有権者は政治家に寄附を 求めない!

政治家から有権者への寄附は 受け取らない!

総務省・(財)明るい選挙推進協会

議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月です。
一般質問は8月31日・9月3日(2日間)の予定。
開催時間/10時~17時(予定)受付は庁舎6階まで。



6月議会は72人の傍聴者がありました 問い合わせは議会事務局まで ☎093-434-1981

一般質問は、11人が質問

ズバリ

町政を問う！！

- 7 榎谷 忠明 議員
 - 1.観光問題について
 - 2.環境と健康の問題について
- 8 小山 信美 議員
 - 1.環境問題について
 - 2.子育て家庭への支援について
- 9 林 繁実 議員
 - 1.危機にひんしている教育問題
- 10 坂本東二郎 議員
 - 1.定住化促進政策について
 - 2.北九州空港とその経済効果について
 - 3.公園緑化と温暖化防止対策について
- 11 梶原 弘子 議員
 - 1.だれもが住みやすい町づくり
 - 2.同和問題
- 12 井上 修 議員
 - 1.荇田町消防職の取り扱いについて
 - 2.企業進出と人口減少対策について
 - 3.企業誘致と水源対策について
- 13 川上公美子 議員
 - 1.実効ある男女共同参画の町づくりを
 - 2.安心安全の町づくりを
 - 3.町民生活応援の町政を
- 14 友田 敬而 議員
 - 1.荇田駅周辺整備
 - 2.伝統文化と観光
 - 3.開かれた行政
- 15 武内幸次郎 議員
 - 1.行政診断及び行政評価について
 - 2.住環境に悪影響を及ぼすことに対する規制措置について
 - 3.快適な文化生活について
 - 4.新北九州空港開港から1年を経過しその後の評価
- 16 常廣 直行 議員
 - 1.新たな産業集積環境整備について
 - 2.財政計画から見る今後の政策
 - 3.安全・安心なまちづくり
- 17 木原 洋征 議員
 - 1.国保税について
 - 2.教育環境について
 - 3.「誰もが安心・安全」の町づくりを
 - 4.清潔な町づくりについて

Q 高城山登山道の整備と環境問題について

A 年次的に整備する

Q 高城山登山道整備を早急に。高城山、山頂の展望の件について。周りの木を伐採して景観を良くして頂きたい。

A 19年度から尾倉、新津ルートのご案内標識、千本桜でのベンチの設置、頂上での記録簿及び休憩施設の整備、さらには樹木板設置を今年度の予算の範囲内で実施していきたい。

環境問題は

Q 廃食油の回収方法及び「BDF」バイオディーゼルの、燃料として考えられな

A バンジープラザ及び給食センターの廃食油は、北九州エコタウンで「BDF」化を行っている。

Q 家庭での廃食油の回収方法として、回収ボックスの検討をお願いしたい。

A 家庭での廃食油をどういうふう回収するか、回収方法を検討する。「B

F」の製法、販売等も荇田町としてどういうふうにするかという事について検討したい。



榎谷 忠明 議員





小山 信美 議員

Q “エコ” への取り組みを A 実現に向け、 検討努力したい

Q 環境基本計画の取り組みと進捗状況について。

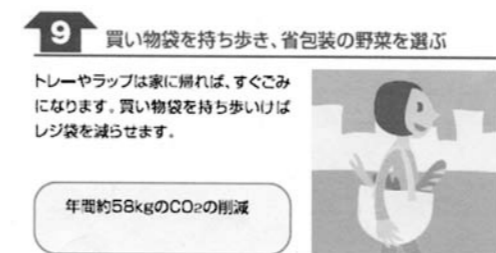
A ノーマイカーデーは実施に向け努力したい。環境家計簿の普及は、普及率を上げ省エネルギーに取り組む。マイバック運動は試験的に300枚程度作成し配布する。資源回収ボックスの配置は、今後検討する。

Q 地球温暖化に対する町の取り組みは。

A 温室効果ガスとごみ量の削減については達成しているが、コピー用紙の使用量と公用車の燃料は目標に達していない。

Q コピー用紙使用量増加の原因は。

A パソコン導入により印刷量が増えた。



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより引用

Q 環境月間にイベント等の考えはあるのか。

A イベントが出来るか検討する。

Q 校庭の芝生化について。

A 子どもの運動量を増加させるには非常に大事だと思ふ。

Q 小学校の屋上緑化と緑のカーテンについて。

A 西工大の先生と現地調査をした後で検討したい。緑のカーテンは子供の環境教育にすばらしい教材になると考えている。



Q 役場の屋上緑化の効果は。

A 効果は上がっている。

Q 雨水の利用については。

A 今回の庁舎改修では考えていない。学校関係は今後、研究課題とする。

Q 役場の屋上緑化に風力や太陽光の試みは。

A 検討したが耐震構造上の問題があり無理と判断した。

子育て家庭への支援

Q 妊婦無料検診の回数拡大について。

A 福岡県と県医師会が協議しており、結果を待って実施に踏み切りたい。

Q 妊産婦用の駐車場の整備は。

A 障害者用駐車場と共有できるか、今後検討したい。

Q 教育の危機、 A 家庭、学校、 地域、行政の連携を 充実させる

Q 今、教育問題を考える

と、人間の英知を超える勢いで膨らんでいる。一朝一夕には解決できない性質のものに変化している。その多くは社会問題にまで発展してきている。危機に瀕している教育問題に行政が教育をどうとらえていくか、地方分権が進行する中で教育をどうしていくのか。

A 重要な課題の一つだととらえ「ものづくり、人づ

Q 教育問題こそ現場である町政のあり方が問われている。そういう時代が迫っている。教育予算を大幅に増やし、執行部職員、教育関係者、住民まで含めて国に先行する場と大胆かつ繊細な施策と実行が必要ではないのか、地方分権を踏まえ、町の教育展望を伺いたい。

A 荻田町では他市町村に先駆けた教育改革を行っている。これを大きく広げて、今、行っている教育が実を結ぶような施策を、教育委員会と協力しながら、町の子どもを育てていきたいと思っている。

Q それには予算を伴うという点であり、改革をしていくというのであれば、

林 繁実 議員



元気な与原小学校児童たち



例えば教育委員会の職員を先進国に1ヶ月・2ヶ月視察を行ってもたいした金じゃない。教育は文化の土壌だ。教育は国家の存亡にかかわる問題であり、そのことを肝に銘じて、まず、荻田町から日本という文化国家をつくってもらいたい。



坂本東二郎議員

Q 町内居住者の増えない理由は A 定住化対策検討会議で協議中

Q 行政全体で、新たな住民を迎え入れるという姿勢が必要だ。人口増加に対して抑制政策を採用した時期もあったが、「住んでくたさい荻田町」、「ウエルカムシティー」づくりへの意識転換を図り努力してもらいたい。荻田町の昼間人口は着実に増加している。昼間人口をいかに定住化させるかを検討すべきである。また、下水道整備五カ年計画の中で民間の活力を導入して早期整備を図るべきではないか。

A 定住化促進では環境整備が重要であり、民間活力がどのように活かせるか、検討してみたい。しかし、かなり厳しいと思う。

Q 住民の意思が「都市計画を変更したい」と言う場合には取り組むべきだ。地区計画のあり方と市街地再開発についての考え方は。

A それぞれの地区の特性に応じて、道路、公園等の施策と建築物の用途、形態、敷地等について一体的、総合的な計画を定めそれに基づいて開発行為を誘導規制し、良好な地区環境の整備と保全を図ることを目的とする制度であり、定めているのは荻田臨空産業団地地区計画のみである。今後諸課題はあるが、可能な地区から検討していきたい。

Q 今、県が整備中である井場川公園も芝生公園であるが、神田公園の芝生化はなぜ検討しなかったのか。



美波台地区

A 芝生化については、並大抵の管理ではできない。新開公園については、住民が一生懸命芝生の手入れをして頂いて、気持ちよく遊んでいる。

Q 神田公園の改修は、土がむき出しで砂漠的である。

る。新開公園のあり方を学び住民に身近な公園作りを目指し住民の力を引き出すべきである。

A 地域の公園は地域で守り育てるという観点から意見等を聞き、地域の方に管理をして頂きたい。

Q 学校の教室が暗い、調査改善を望む

A 与原小学校の教室を改修する

Q 学校の修理保全計画は。一年、屋上防水、外壁、トイレなど6年計画で改修する予定。

Q 児童通学路は万全か、国道やJRを横切って危険である。歩道橋設置の意見もあるが。

A 道路管理者と相談し、できるものから実施する。

Q 義務教育は無償である。と憲法26条にある。冬の暖房費を100円ずつ負担させている学校もあるが。PTA会費の中に本来町が負担すべき予算を保護者に負担させていないか。

A PTAなどの自主的な団体の運営に云々言えない。

Q 地球温暖化の影響で教室内の温度が40度近くなる。文部科学省の基準は30度である。空調設備をと言いつつ、空調設備をとない続けているが全国児童にしろアトピー性皮膚炎の児童は5.5%もいる。夏は汗でかゆくて大変。飼育、掃除当番などにも配慮が必要か。

A 最近行った事は無い。西工大に相談し夏場の各学校を調査しそれぞれの学校に適した方法を提案してもらおう。

Q 尾倉、与原線踏切の改善ではJRが営業してないならレールを撤去し一旦停止は廃止できないかという意見もあるが。

A 情勢の変化でJRの方向が決まっている。変則的で交通の流れは悪いが、ルールを守れば今が最善、警察とも協議し一旦停止を考えた。



梶原弘子議員

障害者自立支援法について

Q くすの木作業所の件について何うが、補助金がついたら2年経過したが先行きの心配が保護者から出されている。

A 5年で事業の見直しであるが、負担の無い方向で考える。

同和行政について

Q 行橋文化会館に部落開放同盟の事務所が入っている。土地所有は行橋市で会館修理には本町も予算を出している。今後どうするか。

A 自治振興協議会の中で一市四町でやってきたが、今後どのようにするのか、至急協議の申し入れをする。





井上 修議員

Q 信頼される苅田町に

A 総合的に判断して 順次やっていきたい

苅田町消防職員の 取り扱いについて

Q 今、消防職員44名、条例定数では50名であり人事採用を前倒しすべきだ。企業進出、生活状況も変わっているが検討すべきだ。

A 実施することは不可能ではない。人事関係部署と協議を行っている。採用のあり方について引き続き検討したい。

Q 18年度救急業務が月に100件以上あるが消防長の考えはどうか。

A 消防職員は臨時職員では対応できない。早い時期に条例定数の50人採用をめざしたい。

企業進出と人口減 少対策について

Q 苅田町の定住化対策として重要な男女共同参画、働く母親が健康的で精神的にも、子育てと、仕事が両立できる支援等はないか。

A 定住化に対する施策としてPR、アンケートを実施する少子高齢化の中、育児支援についても妊産婦の検診の補助のあり方、子供の居場所等のできるものから順次やっていきたい。

Q 新津（清林寺下）一号线付近を民間との協力で住宅地域にできないか。

A 市街化区域になっている、意向があれば法的規制がどうなるのか協議したい。

企業誘致と

水源対策について

Q 水源プロジェクトチームが取り組んだ調査結果は。

A 山口ダムの譲与については、ダム及び付滞設備についての取得は終了した。水利

権の譲渡は国と県との間で協議中である。

Q 苅田町は水は大丈夫と企業が安心して信頼できるように全職員で取り組んでいただきたい。

A 水問題の重要さは長年の懸案であり解決策を今一丸となって取り組んでいる。



Q 実効ある男女共同参画の町づくり

A 今後具体的な取り組みを推進する

Q 「事業者は町としての工事情負等契約を希望し、競争入札参加資格審査申請を行う場合……（中略）……男女共同参画の推進状況を報告しなければならぬ」とあるが条例にまったくないその理由は。

事業者に自覚させることは大事である。

Q 女性やいろいろな団体が活動できる場所の計画は。

A 複合的な施設の一つに女性センターも設けていきたい。

安心安全な 町づくりを

Q 地震、地球温暖化のため異常気象による災害をみても、防災体制等の充実が急がれる。高齢化、障害者への災害周知や避難計画は

A 町長と一緒に関係機関へ要望し努力する。

Q パンジープラザの横に大きな配送センターを建設中だが、交通量が増えるると予測され、メロディー信号の設置を急ぐべきではないか。

A 7月10日竣工で2週間以内に検査になっているが再度依頼をしたい。

Q 苅田臨海工業線の松原町南交差点の歩道橋は夏休み前に通れるように出来な

A 各区の防災訓練等は、区の要望があれば町としても消防と協議しながらやっていきたい。

成21年になっているが命を守るために一日も早い設置を。

Q 台所に火災報知器を設置している緊急通報システム世帯に対して今後寝室につけることも視野に入れた

A 同居家族がいても昼間は一人になり、所得に応じた負担はしてもシステムを利用したいという高齢者がいるが。

Q 高負担にならない金額であれば検討していきたい。



町民生活応援の 町政を

Q 他の市町村では、新たに住民税を課税される負担が増えたが、障害者控除の対象となる人へそれぞれ申請書を送っている。苅田町でも取り組みを。

A そのような制度の周知に取り組みたい。



川上公美子議員

Q 火災報知器の既存の建物についての設置期間が平



友田 敬而 議員

Q 苧田駅前交番を設置し 安全、安心なまちづくりを

A 大きな安心につながるが協議が必要

Q 苧田駅周辺整備事業の進捗状況は。

A 東口駅前広場は平成20年度、西口駅前広場は平成21年度完成予定。県道と西口広場への街路は平成21年度、井場川・玉川のガード拡張を含め、西口取り付け道路は平成22年度完成予定。

Q 井場川・玉川ガード拡張に伴い下水道整備を進めないのか。

A 拡張工事と同時期に下水道管の敷設を検討する。

Q 苧田駅整備に伴い周辺地域のインフラ整備を。

A 財源の確保が出来れば、民間主導ではなく行政主導

で開発整備を行いたい。

Q 事業を行う上で地域住民の声をきき、出来る限り取り入れてみては。

A 地域の声を聞かないとわからないこともある。認識不足の点を申し訳なく思う。

Q 安心安全の観点、町の中心地観光の観点から交番の苧田駅への新設、移転を。

A 交番が駅に出来れば大きな安心につながる。警察との協議が必要。

Q 国も推奨している駅を中心とした町の機能を集めるコンパクトシティ構想。高齢化社会への対応、中心市街地の活性化に結びつく都市機能の充実、まちなか居住の促進など苧田駅整備

を行っているこの時期に行うべきだ。

Q 駅周辺整備の中で駅だけだけでなく周辺も含めて総合的に検討していきたい。

A 県が行った井場川河口埋立事業と町の井場川埋立事業。二つの事業の整合性は。

Q 当初、苧田町は総合情報交流施設(仮称)を計画していたが、状況の変化により現在は白紙の状態。観光振興計画の中で大きなテーマとして位置付けていきたい。

Q 策定中の観光振興計画の中で苧田山笠、等覚寺松会に対する位置付けは。

A 今後考えていきたい。

Q 苧田山笠、等覚寺松会へ支援の考え方は。

A 伝統文化を保存していく事は町の責務である。伝統文化を出来る限り保存、振興するために観光振興計

画の中で取り組んでいきたい。

Q 町の例規集はどこでも誰にでも見られる状況か。

A インターネット上と図書館に設置している。

Q 苧田町のオープンな姿勢をアピールする上で、町民と情報を共有する上でもっと簡単に見られる状況を。

A 大事な問題であるが各公民館に設置することは経費の問題があるので検討させてほしい。



JR 苧田駅西口広場予定地

Q 行政の診断や評価は定期的に行うべきである

A できるものから実施する

Q 行政診断を平成14年に行い、その報告書を平成15年に受け既に4年を経過しているが指摘事項等の改善へ向けての取り組み状況は。また、定期的に行っていく計画はあるのか。

A 文書管理システムの導入や町長と部長さらに職員間の意思疎通を図るための定期的な庁議の開催などできるものから実施してきたが十分とは言えない。今後

Q の計画は現在のところ考えていない。

Q 効率的な行政運営を行うためにも定期的な行政診断をすべきではないのか。

A 現在取り組んでおり、状況の推移を見ながら考えたい。

排水・合併浄化槽等で行っているが事業推進へ向け公平性の確保が必要ではないか。

A 利用者に対し平等な負担の料金体系を設定するなど先進的な経営を実施している。農業集落排水事業において融資斡旋制度や利子補給等及び報奨金制度を設けていない。分担金の納付数等の差異があるが他団体に比較し公平性が保たれた事業形態となっている。見直しすべきところがあれば検討したい。合併浄化槽については生活排水処理基本計画の観点から補助率については見直しを検討し早い時期に実施したい。

処理の長所を組み合わせる形で生活排水処理を考える必要がある。公平性は町民の目線に立った検討が必要だ。現在の汚水処理計画は期間的な問題や、人口動向などの検討が乏しく不備があると指摘してきたが見直しに向けての検討はなされたのか。

A 今日まで処理地区など見直しは行ってはきたが、再度、一歩も二歩も深く検討する必要があると思っている。



武内幸次郎 議員

Q 汚水処理について

A 公共水域の環境保全や快適で文化的な生活を楽しむことができるようにと生活排水処理を公共下水道・農業集落

排水・合併浄化槽等で行っているが事業推進へ向け公平性の確保が必要ではないか。

A 利用者に対し平等な負担の料金体系を設定するなど先進的な経営を実施している。農業集落排水事業において融資斡旋制度や利子補給等及び報奨金制度を設けていない。分担金の納付数等の差異があるが他団体に比較し公平性が保たれた事業形態となっている。見直しすべきところがあれば検討したい。合併浄化槽については生活排水処理基本計画の観点から補助率については見直しを検討し早い時期に実施したい。





常廣直行議員

Q 産業集積のための環境整備は A 財政状況を見ながら推進する

Q 町長答弁では臨空産業団地の総投資額が約33億円。町のホームページの決算状況では積算すると61億円を超える。この違いはなぜか。

A 用地費と造成工事費を合算すると約33億で、違いは確認できない。

Q 税源移譲、三位一体改革による予算編成や事業計画、仕事のやり方をいつから、どのように、変えようとしているのか。

A 税源移譲はマイナズ要因が多い。予算は18年度からの繰越金で賄う。

Q 産業集積のための環境整備事業は実施計画において、19年度までしかないのはなぜか。

A 現状は、長期的な計画を作るのは困難。

Q 予算も19年度までしかついてないが、これで終わるのか。

A 19年度で実施計画は終了。現在、計画は無い。

Q 整備予算が2千7百万円に対し、補正が6億7千万円と異常に大きい。その内容は。

A トヨタ自動車九州と立地協定を結び、整備を行う金額。

Q 企業誘致案内に「工業用水は豊富に供給できる」とあるが、現在は大丈夫か。

A 県として大丈夫だという根拠を持って工業団地を造成している。それを踏まえての記載。

Q 景観形成ガイドラインにおいて県道25号線の取り組みに差があるのはなぜか。

A 北九州市は、自分で管理しているが荻田区域は県の管理。

Q 企業誘致、雇用の創出に数値目標はあるのか。

A 数値目標は決めていない。

Q 人口は平成13年から減り続けている。どう分析しているのか。

A 町外在住者にアンケートを取りその結果で判断する。

Q 北九州市は学童保育を6時半まで延長や、障害者受け入れ施設も増やしているが、本町の今後の取り組みは。

A 変化するニーズに合わせて20年に取り組みようになりたい。

Q 尾倉文久線の踏み切り廃止要望は。

A J Rと協議を継続している。

Q 小波瀬西工大前駅の移転は。

A 今後、どのような形で進めるか、検討する。



殿川ダム

Q 政治倫理条例の改正は、 議員と執行部の責任

A 議会で議論を

Q 荻田町の落札率を見ると、非常に高い。90%以上の入札は、談合とマスコミは報道している。公正・透明な入札制度の導入をすべきだ。

A あってはならないこと。

国保引き下げの緊急実施を

Q 日本共産党の町民アンケートでは、92%の世帯で暮らしが苦しくなった。72%の人が引き上げ中止か、引き下げを訴えており、負担増に苦しむ町民の、国保税の引き下げ実施を。

A 税や使用料は納めていただくのが原則。しかし、一方で困っている方も現実

普通教室の地球温暖化対策を

Q 地球温暖化で子ども達もは過酷な条件で勉強をしている。大人の責任で問題の対応を。

A 夏場の現地調査で、それぞれの学校に適した方策を考えたい。

Q 子どものアレルギー調査を4月に文部科学省が公表。アレルギー疾患を持つ児童・生徒がほとんどの学

校に在籍しており、温水シャワーなどの設置を。

A 実態は把握していない。

子どもの安心・安全は児童館で



開通が待たれる京都峠

Q 6年生まで安全が確保できる児童館を、小学校単位に設置をすべきだ。

A 児童館的なものでセンター複合施設を検討中。与原小学校の2ヶ所目の学童保育も検討中。

Q コミュニティバスをスクールバスとして運行の実現を。

A クラブ活動等で遅く帰る生徒や、障害を持った生徒など特別な場合に限り、利用を検討する。

Q 京都峠通行について、山口地区内の通行は人身事故につながるため、町が地区と協力して安全の確保をお願いしたい。

A 住民の意見を大事に、安全に十分留意し県と協議をしたい。



木原 洋征議員

アジア太平洋子供会議 in 荻田



与原小の練習風景



馬場小



カメラ見て歩き

渇水 遅れたプール開き



第3回「イカダ大会」in 荻田リバー

7月16日(海の日)開催



がんばれ地域のサポーター (第16回)

あの子ども達の歓声よ

蘇れ 海龍の杜に！

新津神楽社中代表 西野伸一



全国各地には伝統芸能として色々な「神楽」が伝承されています。不幸にも新津の地区では何十年前にも途絶えていました。そこで地区の有志により神楽講を昨年発足させました。フルネームは「大原八

幡神社 新津神楽社中 海龍の杜」と申します。

地域の村おこしのイベントとして以前から色々な企画があがりましたが、どの企画も新津5区の協力が必要でした。5区全体の協力を得るのは大変困難です。そこで大原八幡神社のご協力を得られることで「神楽講」を立ち上げることが出来ました。しかし「新津神楽」を伝承出来る人がいません。したがって「オリジナル神楽」を自分達で創作しています。集まった有志の中に音感に優れた者が多数いましたのでお囃子の演奏も飲み込みが早いようです。

そして、今年の大原八幡神社神幸祭の前夜祭として「神楽の奉納」を初公開することが出来ました。

演目は始めに「鬼の舞」を演じました。中略そして最後の「恵比須・大黒の舞」まで夜の雨の中、誰一人帰ることなく、観衆約100人が大いに盛り上がりました。その舞台設備や神楽の衣装、和太鼓などほとんどどの物を大原八幡神社よりお借りしています。もちろん練習場もしっかりで感謝しています。

次回の公演は8月25日午後2時頃から大原八幡神社境内で催される「子供相撲大会」に奉納します。(モチ撒きがあります)

「新津中学校 吹奏楽部の演奏会」も予定されていますので、多数の皆様のご来場をお待ちしています。

メンバーは舞手、囃子方、裏方など小学生を含み現在17人です。毎週土曜日に神社の道場で練習をしています。メンバー募集中です。是非、見学に来てください。

新津地区の活性化や福祉活動のお役に立てられるよう、今後とも各地の神楽の研修や鍛錬を重ねていきます。どうか、皆様のご支

援、ご指導の程をお願い申し上げます。



【お詫言と訂正】
本誌91号の12P一般質問の中で「警察庁」が「警視庁」、20Pが「がんばれ地域のサポーター」の中で「潮田玲子」さんが「塩田玲子」となっておりましたので深くお詫言し訂正させていただきます。

委員長	光 永 信 雄
副委員長	井 上 弘 子
委員	梶 原 幸 次 郎
〃	武 内 直 行
〃	常 廣 敬 而
〃	小 山 信 美
〃	友 田 敬 而

あとがき

この広報が皆様に届く頃には、参院選の投票日も目の前の頃でしょう。そして、さらに9月末の荻田町議会議員選挙が続きます。国政も地方行政も、大きな転換時期を迎えていることを認識しなくてはなりません。地方議会は地方分権改革推進委員会の「第二期分権の方向性に関する基本的考え方」をまとめました。この中で画期的なことは、自治体を「地方政府」として捉え、条例制定権の拡大を明記した点です。実現すれば地域事情に合わない国の基準などは、自治体の判断で変えられる自治立法権も議会に委ねられます。地方議会は政策立案機関に変わらなくてはならず、議員の能力差も自治体間の政策格差になって表れます。このような時代において、地方議員の役割と権限はより大きく、重要なものになってきます。任期満了に伴う荻田町議会議員選挙は地域住民の代表である議員を選ぶ大切な選挙です。自らが決定し、自らが責任を持つ議会体制を、住民の方々と共に確立していきましょう。

常 廣 直 行